

船舶事故等調査報告書

平成23年3月31日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

|          |   |   |
|----------|---|---|
| 事故等番号    | 2010横第89号   |   |
| 事故等種類    | 転覆  |   |
| 発生日時     | 平成22年5月31日（月） 08時05分ごろ  |   |
| 発生場所     | 千葉県富津市沖 富津市竹岡第2防波堤灯台から真方位053° 1,700m付近<br>(概位 北緯35° 13.1′ 東経139° 51.6′)   |   |
| 事故等調査の経過 | 平成22年6月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。<br>原因関係者から意見聴取を行った。   |   |
| 事実情報     | 船種船名、総トン数<br>船舶番号、船舶所有者<br>乗組員等に関する情報   |   |
|          | モーターボート 竜二、5トン未満（長さ5.10m）<br>232-5291千葉、個人所有<br>船長、二級小型船舶操縦士  |   |
| 死傷者等     | なし  |   |
| 損傷       | 船外機の濡れ損   |   |
| 事故の経過    | 本船は、船長が知人4人を乗せ、富津市沖において遊走中、船尾甲板の両舷に設置されていた排水口から多量の海水が入り、平成22年5月31日08時05分ごろ転覆した。<br>船長及び同乗者は、全員海上に投げ出され、乗船者の1人は、自力で陸岸に泳ぎ着き、残る4人は救助船と付近を航行中の漁船に助けられた。<br>本船は、転覆状態のまま富津市天羽漁港にえい航された。 |   |
| 気象・海象    | 気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 2<br>海象：平穏、潮汐 下げ潮の中央期  |   |
| その他の事項   | 乗船者は、全員が救命胴衣を着用していた。<br>排水口の蓋は、本船の販売担当者が事故の前日に本船を船長の知人に引き渡したときには、船尾の物入れの中に入っていたが、本船の販売担当者が事故後に本船を船長から引き取ったときには、なくなっていた。   |   |
| 分析       | 乗組員等の関与<br>船体・機関等の関与<br>気象・海象の関与<br>判明した事項の解析   | 不明<br>なし<br>なし<br>本船は、富津市沖において遊走中、船尾甲板の排水口から海水が入った際、乗船者が片舷に移動して転覆した可能性があると考えられる。<br>本船は、船尾甲板の排水口から海水が入ったことから、排水口の蓋を閉鎖していなかった可能性があると考えられるが、船長から情報が十分に得られなかったため、その状況を明らかにすることはできなかった。 |
| 原因       | 本事故は、本船が、富津市沖において遊走中、船尾甲板の排水口から海水が入った際、乗船者が片舷に移動したため、転覆したことにより発生した可能性があると考えられる。   |   |

